

令和7年5月14日

(連絡先)

商工労働部産業政策課

担当：田中、堂高（ドウタカ）、繁田（ハンダ）

内線：4422、4448

電話：076-225-1519

「スマートエスイーIoT/AI 石川スクール」 DX 推進計画策定支援、人材育成講座の募集開始について

令和2年度より、石川県では、IoT/AI をものづくりに活かす高度技術人材の育成を支援するため、小松製作所・早稲田大学等と連携し、早稲田大学を代表校とする「スマートエスイーIoT/AI 石川スクール」を実施しております。

本年度は、人材育成講座の開催に加え、新たに「DX 推進計画策定支援」を実施しますので、下記のとおり募集開始いたします。

1. 募集事業、対象者等

①DX 推進計画策定支援（R7 新規）

外部専門家による全10回の伴走支援により、DX 推進計画の策定を支援
対象企業：DX 推進計画策定を通して DX 推進を目指す企業

②CDO 育成研修

デジタル技術を活用した経営戦略を作成でき、推進役となる人材
（CDO:最高デジタル責任者）を育成

対象者：経営層

③技術者向け研修

プログラミング、IoT、AI を有効活用し、現場改善や製品開発につなげる
対象者：現場の技術者

④ノーコード／ローコード研修

プログラミング等の高いスキルがなくても、自社の現場に合ったソフトウェアやアプリを開発・作成し、無理なく DX を推進
対象者：技術者・事務担当

2. 募集開始時期

令和7年5月19日（月）から

3. 関連講演、事業説明会等

- ・経営者のための IoT/AI 総合力向上セミナー（募集事業①～④について説明）
令和7年5月19日（月）9:30～12:30
- ・DX 推進計画策定支援事業説明会（募集事業①について詳細を説明）
令和7年6月5日（木）13:00～14:00

令和7年度 早稲田大学を代表校とする 「スマートエスイーIoT/AI 石川スクール」研修カリキュラムについて

研修の狙いを理解

1日間

経営者セミナー (5月)

- ・DX/IoT/AI推進に向けたマインド
- ・県内IoT/AI事例
- ・ノー/ローコード概念
- ・CDOの必要性・育成
- ・DXの本質



研修の実施

①CDO育成研修 (7月～11月) 全7回

- ・変化する社会・経営環境に対応するために、今後の経営にはデジタル化が必須であることを理解し、デジタル技術を活用した経営戦略を作成でき、推進役となる人材 (CDO:最高デジタル責任者) を育成



②技術者向け研修 (9月～11月)

1.5日間

プログラミング コース (9月)

- ・Pythonによる データ解析
プログラミング基礎



IoTコース (10月) 3日間

- ・IoTの活用によって自社の製造現場の改善をしたい
生産技術者等のための研修
(製造ライン異常検知、センサ、モータの振動、電流変化 等)



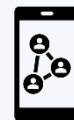
AIコース (11月) 3.5日間

- ・機械学習等の活用によって画期的な製品を開発したい
製品開発担当者等の
ための研修 (機械学習、深層学習、Webカメラ画像認証)



③ノーコード/ローコード研修 (6月～12月) 全14回

- ・プログラミング等の高いスキルがなくても、自社の現場に合ったソフトウェアやアプリを開発・作成し、無理なくDXを推進できるノーコード/ローコード研修
(Platio編:4回、kintone編:4回、PowerAutomte編:4回、Copilot編:2回)



④DX推進計画策定支援 (7月～1月) 全10回

- ・企業のDX推進のレベル向上を目指し、DX計画策定を支援
(外部専門家による全10回の伴走支援により、DX推進計画の策定を支援)



ターゲット

経営層
(社長・役員・部長等)

現場担当者
(技術者等)

現場担当者
(技術者・事務担当)

DX推進チーム
(経営層・CDO)

DX推進計画策定支援

- DX実現のため、専門家が企業と共に、**経営ビジョンの確認から課題の洗い出し、DX推進計画の策定までを支援**します！
- デジタル化の取組や人材育成をしてきた企業が、**企業全体を見つめ直し、もう一步、取組を進めるチャンス**です！！

対象者

変革を目指す企業の経営層を含むチーム
(社長、役員、部長、CDO等)

定員：3社

期間

令和7年7月頃～令和8年1月の期間中、全10回 訪問支援

自己負担額

10万円／社

募集期間

令和7年5月19日(月)～6月13日(金)

※事業説明会：6月5日(木)13時～14時



(株)アイ・コネクト
大久保 賢二 氏

カリキュラム

- 経営とITの両面に精通した専門家（ITコーディネーター）が全10回、意見を交わしながら、DX計画の策定について伴走支援を行います。
- 企業が自らDX推進計画を策定し、実効性のある計画となります！
- 体系だった支援メニューであり、一歩ずつ着実に計画策定を進められます。

<支援メニュー>

経営理念
ミッション確認

DX構想の
検討

DX構想の
裏付

目標値の
設定

DXシステム
構想検討

現状分析

実施項目
決定

スケジュール
検討

実施体制
検討

社内報告会

※主要な回については、経営者のご出席をお願いいたします。

※本事業は、全社的にDXに向けた取組を進めるための計画策定を支援するものです。
(単なるシステム更新や事務効率化ツールの導入等のみを目的とする場合は対象外)

【申込及び問合せ窓口】

プログラム詳細（全10回、支援企業を訪問）

No	DX推進計画書の目次	内容
1	経営理念、ミッション確認	・経営理念、ミッション・ビジョンを再確認 ・DX計画のゴールおよび企業存在意義を理解
2	DX構想（目指す姿）の検討	・DXにより目指す姿を検討
3	DX構想（目指す姿）の裏付	・市場調査や顧客ヒアリングを元に定量的に確認
4	目標値の設定	・KPI・KGIを設定 （短期的・中長期的な目標値を設定）
5	DXシステム構成検討	・デジタルツールのシステム構成について検討 ・デジタル技術やどのようなデータを活用するか検討
6	現状分析	・DX構想（目指す姿）と現状のギャップを抽出
7	実施項目決定	・抽出したギャップをもとに実施項目を決定 ・優先順位をつけ、短期的／長期的に分ける
8	スケジュール検討	・短期的なスケジュールは週単位で決定 ・中長期的なスケジュールは半年単位で決定
9	実施体制検討	・短期的スケジュールには個人名を指定 ・DX部門の新設や外部支援者の活用も検討
	社内報告会	・社内メンバーに共有する

支援事例

車両のユニット部品の製造業での支援事例

今までの方針：大手の下請けとして、高品質・短納期・価格低減を目指してきた

専門家が牽引し、企業の目指す姿を検討

潜在ニーズの発見：旧い型式部品の修理依頼がある

→ 目指す姿：部品情報をデータで管理し、問い合わせ対応や提案ができる仕組(システム)を構築

新しいビジネスの形を発見し、競争上の優位性を確立できた

（大手の下請→顧客に選ばれて、修理を「お願いされる」側の企業に）

さらに、目指す姿の実現のためのシステム構成や、スケジュール、実施体制の検討も支援

募集スケジュール

①募集期間：R7.5.19（月）～6.13（金）

申請方法については、申請ページをご覧ください

※申請ページ

https://www.pref.ishikawa.lg.jp/syoko/wasedasmartse/dxkeikaku_2025.html

②事業説明会

R7.6.5（木）13時～14時 石川県地場産業振興センター 本館3階 第5研修室
伴走支援を実施する大久保氏より事業を説明します。

※14時～17時は、**トライアル研修（参加自由）**を実施

※申込フォームから申請いただくか、
電子メールで窓口にお申し込みください

※事業説明会申込フォーム

<https://forms.gle/FmfFtfqxSFyyykxz6>

